

令和元年10月28日

牧の台小学校 保護者のみなさま

川西市立牧の台小学校

校長 加藤 あおい

P T A会長 木村 和美



牧の台小学校P T Aのあり方について（その2）

秋冷の候 保護者のみなさまには、本校の教育活動並びにP T A活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

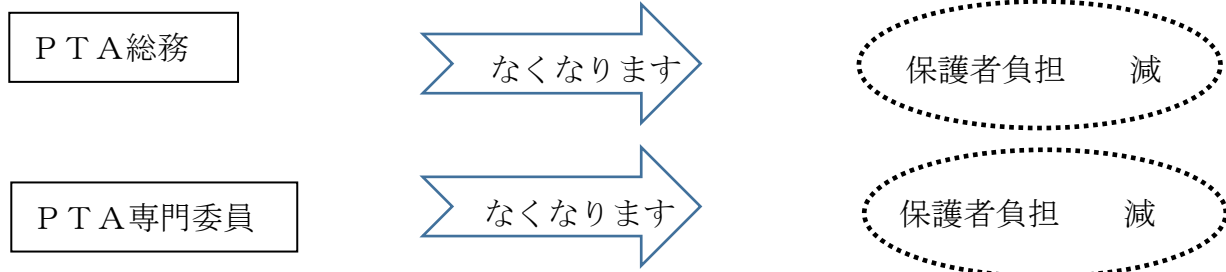
牧の台小学校P T Aのあり方について、先週に引き続き、協議していることをお知らせします。

もし、P T Aがなくなったら、どうなるでしょう。

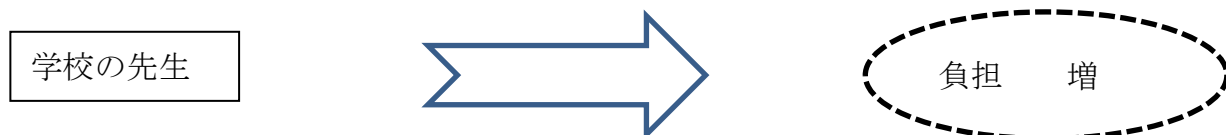
現在、牧の台小学校P T Aは、家庭数の会員100%で成り立っています。

仮に会員数が大きく減少した場合は、P T A活動の存続が難しいと考えられます。

P T Aがなくなったら



「P T A役員 できる・できない・したくない」や、P T A各委員からのボランティアの依頼等、他の保護者の方に気を使うことから解放されます。



学校としては、環境整備や行事の安全な運営にご協力お手伝いいただいていたことに大変感謝しております。もし、P T A活動がなくなっても、安全な学校運営をしていくことに変わりありません。

P T A総務さんや専門部のみなさんが、各保護者の方に依頼していただいたことを担当の教職員のほうで行うことになります。（運動会の会場の見回り・自転車置き場の整理・エプロン修繕・図書館の開放など）教職員の仕事が増えてしまうことによる、教育の質の低下や勤務時間を心配してくださる役員さんの声がありました。

各保護者



保護者負担 増
つながりが 減

子育てが、個人に委ねられ、親の役割がさらに大きく重たくなることが予想されます。

◆登下校の見守りを各家庭でしていくことになります。

例・・・海外のように、登下校の安全をどうしていくかを各家庭にまかされる。

現在は地区ごとに班編成を行い、学校安全協力員さんやP T A地区委員さんの見守りがあり、安全に登下校しています。また、自治会安全部・補導委員会・防犯協会等にもお世話になり、放課後に見回ってもらっています。子ども110番のおうちも沢山あります。

それは、P T A役員さんが会議に出席し他の行事をお手伝いしていることで、大和地区みんなで子どもを守ろうとして下っているからです。

東京都では、保護者がお金を出し合って警備員を雇っているところや、低学年の保護者が高学年の保護者に菓子折りを持っていき一緒に登校してくれるよう頼んでいるところもあるそうです。もちろん、ご近所で誘い合っているところもあるそうです。

また、様々な事情から、P T Aがなくなっても、数年後に保護者会を立ち上げ、活動を再開している学校もあります。

◆ベルマークやエプロン修繕、運動会、地域へのボランティア等がある場合は、学校からボランティアの依頼として案内することになります。同じ保護者の方が何度も参加したり、参加者が集まらないときは、再募集したりすることになるかもしれません。

◆保護者同士のつながりが減ります

保護者と学校のつながりが減ります。

保護者と地域のつながりが減ります。

「つながる必要があるのか」といった意見もあるかもしれませんが、同じ地域・学校で子育てをしている同世代の大人がつながることの子育てへの影響は大きいと考えます。

小学校入学から中学校卒業まで9年間、高校までだと12年間。保護者同士が支え合ったり相談し合ったりと繋がることは、きっと意義があると思います。

地 域



負担 増

地域の役員のみなさんだけでは運営できない行事もあります。

P T Aさんのお手伝いがなくなると、楽しい行事がなくなるかも・・・。

夏の開放プール・・・P T A地区部さんの手伝いで実施

秋の文化祭での子どもカーニバル・・・P T A地区部さんの手伝いで実施

夏祭り・・・東谷中学校P T Aが来店

P T Aは、地域の様々な団体とつながり、子育てをしています。

牧の台コミュニティ協議会

夏休みのプール開放
子どもカーニバル
放課後子ども教室
東谷中学校区育成市民会議
児童鑑賞会への補助金をP T Aに
人権学習会への補助金を学校に
人権啓発
民生委員・児童委員との連携など

大和自治会

入学児童全員に黄色い傘のプレゼント
体育館シートなどの寄贈
大和夏祭り、運動会、文化祭、とんど祭りなどのイベント
夏休みディキャンプ
防犯…青パトでの見回り
登下校の見守り
三世代交流事業
廃品回収事業の一部をP T Aに補助
福祉委員会 など



牧の台小学校の子どもたち

青少年補導委員会

パトロール（夕刻・夜）
月8回程度実施
危険個所の確認
市内他地区の連携 など

※P T Aから1名 委員選出

牧小P T A

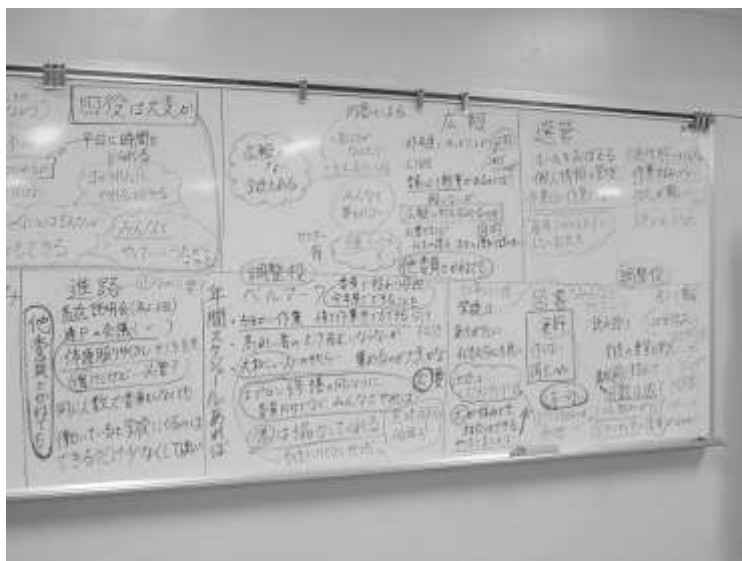
北部4校（東谷中・北陵小・東谷小）との連携
市P T A連合会との連携
ベルマーク活動（コープをはじめ、地域の方の協力もあります）
プール開放の見守り補助 子どもカーニバルの受付等
学校環境整備への補助金（花壇、卒業式の花等）
学校環境整備の補助（大掃除、運動会・音楽会等行事）
民生委員さんとの連携
地域の会議等に参加（コミュニティ運営委員会、献血ボランティア、補導委員会、福祉委員会…） など

**地域団体の方は保護者の方との
つながりを求めています。**

そして、学校が今以上に疲弊し、地域や親のつながりも希薄になり…

子どもたちにとっての故郷は、ここ川西市であり、大和・長尾・畦野です。安心でき住みやすい居場所のある故郷であってほしいです。

牧小PTAは、活動のスリム化について、検討を進めています。



・総務、各専門委員からのスリム化の提案を受け、仕事の分担方法や、役員人数を減らす案など実現可能なものを洗い出しました。

例…会長さんの挨拶をなくそう。ベルマークの意義をしらせる。回収の仕方の工夫。等
次回の全体委員会までに、提案をまとめます。

PTA加入届の話や仕事と子育て、仕事とPTA活動などの両立の話、価値観の話もあり、話が盛り上がり3時間に及びました。

・学校は、子どもたちがよりよい社会人になるために教育を行っています。

牧小では、「人と人とがよりよくつながること」も、子どもたちに教えています。

そして、「よりよいつながり」ができる場として、牧小PTAの活動が続いてほしいと願って検討をしています。



豊かな人は、よりよいコミュニケーションができ、助け助けられる人です。つながっている人です。

その手本となるよう、親として「できるときに」「できることを」しませんか。

『LINK～子どもたちの笑顔のために～』

『LINK～自分の笑顔のために～』